

財務諸表に対する注記

当法人は、平成 22 年 11 月 1 日に公益財団法人へ移行している。移行の前後で事業年度を区分するため、当該事業年度の期間は、平成 22 年 11 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までとなっている。

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンスリース取引については、重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金				
基本財産引当預金	2,494,301	0	550,045	1,944,256
投資有価証券				
マツダ株式会社社債	197,505,699	550,045	0	198,055,744
利付国債	400,000,000	0	0	400,000,000
ユーロ円債	400,000,000	0	0	400,000,000
合 計	1,000,000,000	550,045	550,045	1,000,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金				
基本財産引当預金	1,944,256	(1,944,256)	(0)	—
投資有価証券				
マツダ株式会社社債	198,055,744	(198,055,744)	(0)	—
利付国債	400,000,000	(400,000,000)	(0)	—
ユーロ円債	400,000,000	(400,000,000)	(0)	—
合 計	1,000,000,000	(1,000,000,000)	(0)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,817,330	1,635,597	181,733
合 計	1,817,330	1,635,597	181,733

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
第22回マツダ株式会社社債	99,652,000	100,770,000	1,118,000
第23回マツダ株式会社社債	98,403,744	101,840,000	3,436,256
第256回利付国債	300,000,000	309,285,000	9,285,000
第266回利付国債	100,000,000	103,820,000	3,820,000
ドイツ復興金融公庫ユーロ円債	100,000,000	69,770,000	△30,230,000
ノルウェー地方金融公社ユーロ円債	100,000,000	69,600,000	△30,400,000
ビーエヌピー・パリバ銀行ユーロ円債	100,000,000	72,430,000	△27,570,000
バークレイズ・バンク・ピエールユーロ円債	100,000,000	92,518,000	△7,482,000
合 計	998,055,744	920,033,000	△78,022,744

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
基本財産引当預金から預金への振替	550,045
合 計	550,045